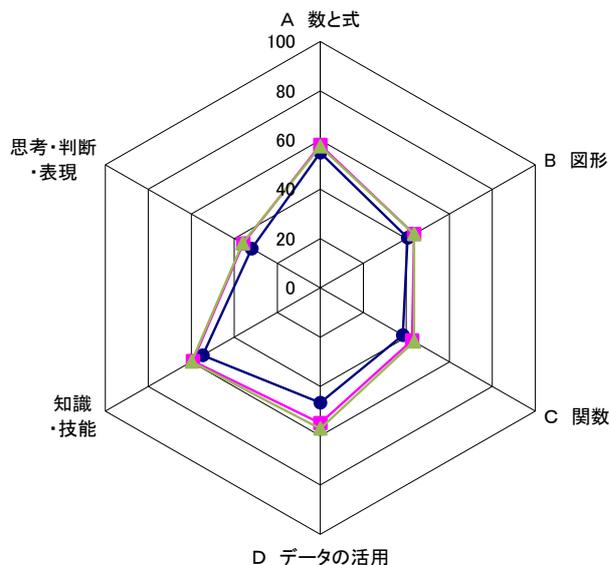
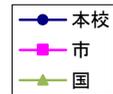


宇都宮市立豊郷中学校第3学年【数学】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【数学】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	A 数と式	54.9	58.0	57.4
	B 図形	40.6	43.6	43.6
	C 関数	38.4	42.7	43.6
	D データの活用	46.6	54.9	57.1
観点	知識・技能	54.7	59.3	59.9
	思考・判断・表現	31.9	35.9	36.2
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
A 数と式	<p>○連立二元一次方程式を解く問題の正答率は全国平均を上回っている。</p> <p>●正答率は全国平均を2.5ポイント下回っている。</p>	<p>・基本的な計算の技能はある程度身に付いている生徒が増えてきたが、今後まだ理解が不十分な生徒の基礎学力向上のため反復練習の機会を設ける。</p> <p>・言葉の意味などの知識が不十分なため、間違えてしまうことがあるので、授業等で繰り返し復習確認することで、数学に関する知識の定着を図っていく。</p>
B 図形	<p>○三角形の合同条件を書く問題では正答率が全国平均並みである。</p> <p>●正答率は全国平均を3ポイント下回っている。</p>	<p>・図形に関する知識・技能については身につけてきている。今後はさらに筋道を立てて説明する力が不十分な生徒の学力を高めるために、問題が何を意味しているか捉えさせる活動や言語活動をより多く取り入れていく。</p> <p>・反例の意味、筋道を立てて考えることなど説明する活動を取り入れながら実感的な理解をさせていく。</p>
C 関数	<p>○与えられたグラフから座標を読み取る問題では正答率が全国平均との差が少ない。</p> <p>●正答率は全国平均を5.2ポイント下回っている。</p>	<p>・表・グラフ・式との関連性(全てつながっていること)を意識した授業を取り入れ、それぞれの表し方のよさを感じられるようにするとともに、問題にあった表し方を活用できる力を身に付けられるようにする。</p> <p>・応用問題を取り入れ、自分の言葉で説明する力を付けるために、言語活動を多く取り入れる。</p>
D データの活用	<p>●正答率は全国平均を10.5ポイント下回っている。</p>	<p>・箱ひげ図の読み取り方、確率の意味についての基本的な学習について復習する機会を設ける。</p> <p>・データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるようになるために、日常生活や社会の事象を題材とした問題などを取り上げ、統計的に問題解決することができるような機会を設定する。</p>